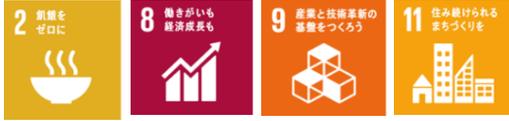


普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年) 9月 3日
所属名:甲賀農産普及課
番号:C25007
発信者名:杉浦



山内地域の女性グループが地域特産「くるみ」弁当の販売を開始

甲賀市土山町山内地域の女性を中心に構成される任意団体「やまうちの郷」は、道の駅「あいの土山」の令和7年8月1日リニューアルオープンに合わせて、地域の特産である「くるみ」をメインとしたお弁当の開発を行い、「^{あけびはら}山女原くるみ弁当」として販売を開始されました。

山内地域では、かねてより、地域の女性で地元農産物を使用した総菜や菓子の製造・販売、高齢者向け給食事業等を行っておられました。地域のためのボランティア活動の意義合いが強く、将来も継続できる取組とすることが難しい現状がありました。また、地域活性化のために、山内地域や地元農産物をPRする方法を模索されていました。

そこで、当課では、山内地域におけるコミュニティビジネスの創出と地域活性化を目的として、地域の特産である「くるみ」をメインとした地元農産物を使ったお弁当の開発と、道の駅「あいの土山」のリニューアルオープンに合わせた販売活動を支援しました。

お弁当の開発にあたって、農山漁村発イノベーション支援の専門家派遣制度を活用し、2名の専門家の方に、お弁当のメニュー開発・試作、お弁当の掛け紙のデザインの作成やお弁当と山内地域を紹介するリーフレットの作成について助言いただきました。

販売開始後の売れ行きは好調で、「試行錯誤が続いたが、無事に販売できて良かった。実際に動き出して見えてきた課題もあるので、工夫してより良い取組にしていきたい」との声が女性グループより聞かれました。

今後も、お弁当に続く新たな商品の開発など、中山間地における地域活性化の取組のモデルとなっていだけるよう、当課として支援していきたいと考えています。



専門家派遣

(お弁当の試作)の様子



お弁当の掛け紙とリーフレット



道の駅での販売の様子